

平成25年度 第4回「ふれあいトークキング～市長と給食当番～」事業記録

1 日 時 平成25年11月5日（火） 午前11時50分～午後1時10分

2 実施校 宇都宮市立西小学校

○給食時懇談クラス 4年1組

3 実施内容

○4時間目の授業参観（午前11時50分～午後0時25分）

- ・全クラスを学校長の案内により参観

○給食当番（午後0時25分～午後0時45分）

- ・給食当番の児童と配膳を実施



献立

麦入りごはん
牛乳
セルフひじき
笹かまぼこの二色揚げ
大根おろし
杏仁ゼリー

○給食（4年1組にて）（午後0時45分～午後1時00分）

- ・市長からのメッセージビデオ放映

○児童との懇談（午後1時00分～午後1時10分）

- ・児童から市長への質問形式で対話

児童：市長さんになろうと思ったきっかけは何ですか？

市長：前の市長さんが辞めて、次の市長さんを誰にするかという時に、ぜひ市長に立候補してくださいと話を受けて、「宇都宮をよくしよう」と思って市長になろうと思いました。



児童：1週間の中で休みはありますか？

市長：1週間の中で休みはほとんどありません。1日お休みを取れるのは年に何回かです。

児童：特に取り組んでいる仕事は何ですか？

市長：宇都宮の一番の顔になっている中心市街地や郊外の畑や田んぼが多く、梨やリンゴが取れるような田園地帯、これらのどこでもいつまでも住み続けられるようなまちをつくることです。

これからお年寄りが増えていきます。そういう方が車の運転が出来なくなってしまうたらどうするか。皆さんは車の運転が出来ないからお家の人とかにいろいろなところに乗せて行ってもらっているかもしれませんが、年を取ってくると車の運転が出来なくなってきました。そして皆さんも年を取ると車の運転が出来なくなります。そうすると、病院に行ったり、買い物に行ったり、

映画を観に行ったりが出来なくなります。

車の運転が出来ない人が増えても生活が出来る公共交通、バスやタクシーを充実させ、東武線とJRをつなぐ横軸としてLRTという路面電車も作っていきたくと思っています。

どこに住んでいても公共交通で移動できるまちをつくっていきたくと思っています。それを今、取り組んでいます。

児 童 : 市長さんはどんな宇都宮にしたいですか？

市 長 : 例えば、仙台や横浜、名古屋、広島が東京と同じように日本の中で大都市と言われていています。これから日本の人口が減っていきますが、そういう大都市はこれからもいろいろなところから人が移り住んで人口が増えると言われていています。人口が増えると消費が増えたり、仕事や会社が増えたり、都市に入ってくるお金が動くので景気が良くなります。そういうまちに宇都宮もしていきたくなので、全国で5本の指に入るまちにしていきたいと思います。全国で5本の指に入る宇都宮をつくっていき、いつまでも皆さんが幸せに生活が出来る宇都宮をつくっていきたくと思っています。



児 童 : 宇都宮に住んでいる人たちはどうやったら幸せになれるか？

市 長 : 逆を考えてみてください。大変な思いをしている人が世界中にはたくさんいます。例えば、世界の中には水道がないので川へ水を汲みに行って、その川の水を飲んだり、料理に使ったりしている人達があります。水を汲みに行く役割は子どもです。大人は忙しいから皆さんのような子どもが毎日川までバケツを持って、2キロや5キロ、1日何往復もしなければなりません。

ん。学校に行けない子どももたくさんいます。また、インフルエンザにかかっても病院にかかれば治るのに、病院がないから命を落としてしまう、風邪を引いただけで命を落としてしまう、そういう子どもいます。皆さんには病気になってもちゃんと病院があります。学校に行っても給食が出て栄養もしっかりしています。勉強したいな、遊びたいなと思っても家から一人を出掛けることができる安全なまちです。そういうものが幸せなまちだと思います。宇都宮はこれからも安全で安心で皆さんが生活をする上で困らないまち、そういうまちが、宇都宮が目指すべきまちだと思います。

児 童 : 市長さんはどんな小学生だったのですか？

市 長 : 多分、この中にいたら一番うるさかったと思います。体育が一番好きでした。体育と給食の時間が、一番元気でした。先生も多分困っていたと思います。

児 童 : 子どもの頃の夢は何でしたか？

市 長 : おせんべい屋さんになることでした。市長さんのお家はおせんべい屋さんでした。市長さんが1歳の頃は小幡の裁判所の北側で小さな小さなおせんべい屋さんをやっていました。そして、江曾島という陽南中学校の近くに引っ越して、そこで機械を入れて大量におせんべいを作っていました。小さい頃はずっとそこで遊んでいたのでも自分も大人になったらおせんべい屋さんになりたいという夢を持っていました。



児 童 : 子どもと遊ぶ時間はありますか？

市 長 : 市長さんには子どもが3人います。一番上の子どもは就職して子どももいます。二番目の子どもは女の子ですが、今24歳で、仕事をしています。一番下の男の子は大学2年生で今東京にいます。もう遊んでくれるような年齢ではありませんが、孫があと4年くらい経つと小学校に入るので一緒に遊んでくれるかなと思っています。

児 童 : 市長さんはどんなスポーツが好きですか？

市 長 : 高校生、大学生の時にアメリカンフットボールをやっていたのでアメリカンフットボールが好きです。でもスポーツは何でもやりますし、スポーツをするのが好きです。

児 童 : 宇都宮を一言で言うとどんなまちですか？

市 長 : 宇宙一のまちだと思います。

皆さんも大人になって、「宇都宮から来ました」と言うと、宇都宮が何県か知らない人もいます。そういう方が少なくなるとさっき話した大きな都市と同じように評価されるまちになると思いますので皆さんもいろいろなところに行ったときは「宇都宮、宇都宮」と言ってほしいですし、出来れば「住めば愉快だ 宇都宮、ぜひ一度来てみてください」といろいろな人に話しかけてみてください。それを皆さんにお願いしたいです。

○ ごちそうさまでした。 (午後1時10分)